

News Letter

9月に入って暑さが和らぎ、夏も終わりが見えてきました。

先日、Human Practice として京都市上下水道局石田水環境保全センターにて実際の下水処理の様子を見学させていただきました。下水に含まれるものが実際にどのような処理を受けるのかを実際の設備を案内していただきながら丁寧に説明していただき、非常に勉強になりました。今まで私たちが想定していた下水処理の方法とは異なる部分もあったので、そこで新たに得た知識をプロジェクトに反映し、新たな戦略を考えたりすることにもつながっています。本当に充実した有意義な体験をさせていただきました。



また、もう一つの Human Practice として、本校のキャンパス見学にいらっしゃった昭和薬科大学附属高等学校の学生の皆さんに合成生物学や私たちが実際に行っている実験、プロジェクトについての簡単な紹介を行いました。今まで生物学を勉強したことがない学生が多数でしたが、話を熱心に聞いて下さり、充実した時間にすることができました。終わった後は本校の時計台や附属図書館などを案内し、学生たちとも少しコミュニケーションを取ることができました。彼らの将来に少しでもいい影響を与えられていたらと思います。



肝心の実験に関しては、時間の余裕がありません中、少しずつですが進捗が得られつつあります。プロジェクトで用いる目的のタンパク質の配列が乗ったプラスミドは大部分が完成し、9月からの後半戦では実際にタンパク質を発現させて精製する段階に移ることができそうです。

また、自分たちで洗濯をし、出た排水にどのくらいのマイクロファイバーが含まれているかということや、PET フィルムを用いて目的のタンパク質が狙い通り結合してくれるかということを実際に調べてみるという計画もあります。厳しい戦いになると予想されますが、ここまで貴重な時間を削って進んできた以上、良い結果が得られるように最後までベストを尽くしていきたいと思います。

※お願い※

先月号にも書かせていただきましたが、現在ご使用なさっていない実験器具（ピペットマンやサーマルサイ클ラーなど）で、ご不要であり、私たちに譲っていただけるものはありませんでしょうか。もしありましたら、恐れ入りますが、このメールにご返事を頂けたら幸いです。誠に勝手なお願いですが、どうぞご検討よろしくお願いいたします。

今月号もお読みいただき、ありがとうございました。引き続き iGEM Kyoto をよろしくお願いいたします。

京都大学理学部 1 回生 劉 裕介 （文責・ニュースレター担当）
理学部 1 回生 池田 雄太郎（編集・デザイン担当）
薬学部 2 回生 田向 健人 （2019 年度チームリーダー）

連絡 : igemkyotos2019@gmail.com

ホームページ : <https://igemkyoto.github.io/index>